

当院の救急外来および救急部集中治療室において治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「岡山大学病院の救急外来および救急部集中治療室における精神科介入の実態に関する動向調査」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究責任者 岡山大学病院 精神科神経科 助教 藤原雅樹

1) 研究の背景および目的

救急外来を受診する患者さんの38%は精神疾患として治療を受けていると言われています。精神疾患がない方であっても、救急入院した患者さんでは約10%の方が自分のいる場所が分からなくなったり、寝ぼけたようになって混乱したりするような状態（せん妄と言います）になって、精神科医の診察を受けることがあります。また治療を受けている患者さんのご家族も、治療への不安など心理的な苦痛を感じていることも分かっています。このように、初期治療から退院後まで救急医療の様々な場面で、精神科医療のニーズがあります。

こうした救急医療での精神科医療のニーズに合わせて、当院では、必要な患者さんに対して精神科医の診察を提供するために2017年より救急病棟定期ラウンドを開始しました。この取り組みでは、救急部集中治療室（EICU）を精神科医師が連日往診して、患者さんや家族への対応を行なっています。本研究は、当院におけるこうした取り組みの質を向上していくために、当院を救急受診した患者さんのうち何件程度に精神科医師が介入し、またどのようなニーズに対応しているのか、その動向を調べることを目的としています。

2) 研究対象者

2018年4月1日～2025年3月31日の間に岡山大学病院を救急車またはヘリで受診し、救命救急科からの治療を受けられた方およそ7000名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2028年3月31日
研究開始日を情報の利用開始する予定日とします。

4) 研究方法

当院の救急外来および救急部集中治療室で治療を受けられた方で、研究者が電子カルテ情報をもとに調査を行います。当院で救命救急科による治療を受けた患者さんを対象に、精神科の医師によるカルテ記載がされた割合、精神科の医師が診察をした理由の内訳、精神科の医師が診察をした後の転帰などについて調べます。まず2018年4月1日～2023年3月31日の期間について患者さんを抽出して、2018～2022年度のデータを得ます。以降の年度のデータについては、各年度の翌年度に、前年度データとして対象となる患者さんの抽出をします。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 救急受診時の年齢、性別
- 救急受診日
- 精神科医師によるカルテ記載の有無と、初回カルテ記載日時
- 精神科医師が介入を行なった理由
- 救急外来での転帰
- 退院時に入院していた病棟
- EICU 滞在期間
- 退院年月日
- 入院日数
- 精神科病棟へ入院した際の入院形態
- DPC 入院した症例における、主傷病名、入院の契機となった傷病名、入院時併存症
- 精神科入院した症例における、主傷病名、入院の契機となった傷病名、入院時併存症
- 急性期医師配置加算の算定有無、算定内容
- 精神疾患診療体制加算の算定有無、算定内容
- 急性薬物中毒加算の算定有無
- せん妄ハイリスクチェックリストの入力内容（70 歳以上かどうか、脳器質的障害の有無、認知症（認知機能低下）の有無、アルコール多飲の有無、せん妄の既往の有無、リスクとなる薬剤（特にベンゾジアゼピン系薬剤）の使用の有無）
- 初期認知症徴候観察リストの入力内容
- AUDIT-C の入力内容（飲酒頻度、飲酒量、大量飲酒の頻度、AUDIT-C の合計点数）

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室の鍵付きキャビネット内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究資金と利益相反

この研究は、研究責任者が所属する診療科の運営費交付金を用いて実施します。

この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

私たちはこの研究によって特許を得る可能性があります。ただし、その権利は岡山大学に帰属します。研究対象者の方には帰属しません。

10) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせす

することもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 精神科神経科

氏名：藤原雅樹

電話：086-235-7242（平日：9時00分～17時00分）